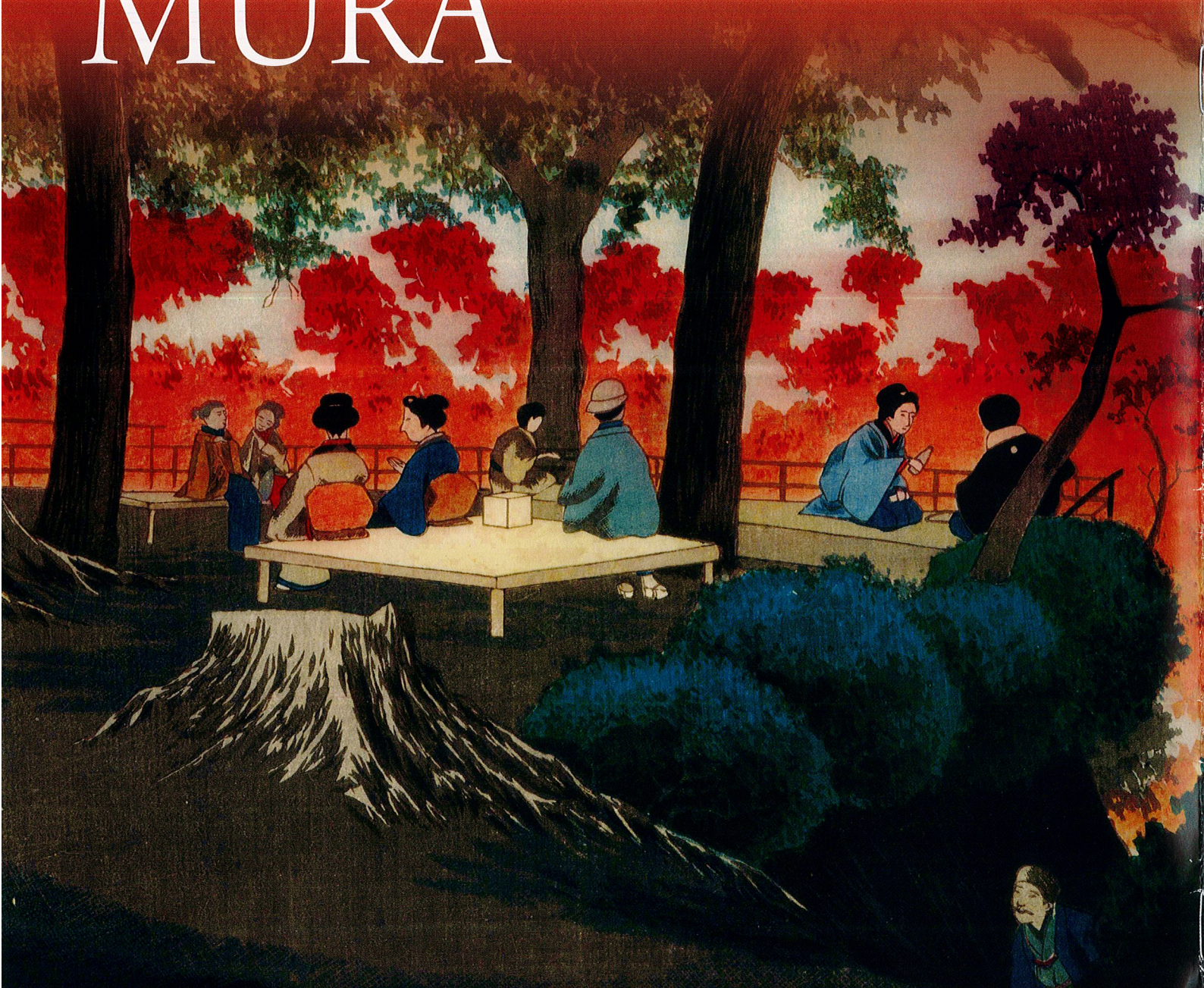


# MEIJI MURA

明治村だより  
2023 Autumn  
111



## CONTENTS

- 明治村の建築に視る日本近代青春群像物語〈十一〉  
帝国ホテルライト館は  
日米文化の出会いに架かる未発の夢(その一) …02
- ライトが帝国ホテルに込めた思い …06
- 明治村写真コンテスト紙上展覧会 …08
- 秋の催しもの …10



## 明治村みらい基金

私たちの未来を豊かにする「明治」の価値  
一緒に残し、伝えていきませんか

歴史的建造物を中心とした「明治時代からの贈り物」を未来へ残し続けるためには、多くの資金が必要です。明治村事業へのご支援をお願いします。



### ご支援の内容

- ・本物の価値を残し、未来へ伝えるための展示建造物の維持・保存修理
- ・本物の価値を残し、未来へ伝えるための歴史資料の維持・保存修理
- ・未来の指針となる明治時代の価値を伝えるための展示(常設展及び企画展)
- ・明治時代製造の蒸気機関車及び京都市電の動態展示
- ・博物館明治村の事業全般

1回3,000円からご支援いただけます(マンスリーサポーターは月額1,000円から)  
公益財団法人明治村へのご寄付は一定の「税制控除対象」となります。

### ご寄付の方法

明治村みらい基金へのご寄付は、以下の方法で行うことができます。

- ・クレジットカード
- ・金融機関からの振込
- ・ゆうちょ銀行からの払込

詳しくは博物館明治村公式サイト内  
「明治村みらい基金」をご覧ください。



## 協賛会員 (令和5年7月1日現在)

敬称略:五十音順

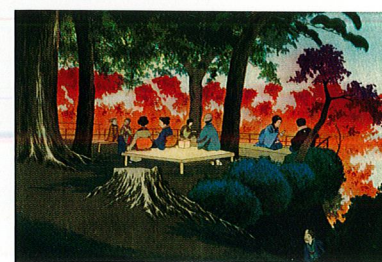
### ゴールド会員

大成建設株式会社

矢作建設工業株式会社

### 一般会員

- |                 |                     |                      |                |
|-----------------|---------------------|----------------------|----------------|
| アイカ工業株式会社       | アサヒ飲料株式会社           | アサヒビール株式会社           | 厚見建設工業株式会社     |
| 株式会社安藤・間        | 株式会社磯部組             | 株式会社伊藤園              | 伊藤忠商事株式会社      |
| 因幡電機産業株式会社      | 株式会社魚津社寺工務店         | 株式会社エイムクリエイツ         | NTP名古屋トヨベツ株式会社 |
| NTT都市開発株式会社     | 株式会社NTTファシリティーズ     | 株式会社大林組              | 岡谷鋼機株式会社       |
| 株式会社オノコム        | 鹿島建設株式会社            | 株式会社関電工              | キリンビール株式会社     |
| キリンビバレッジ株式会社    | 株式会社熊谷組             | 株式会社鴻池組              | コクヨマーケティング株式会社 |
| 五洋建設株式会社        | 合資会社青木研磨工業所         | 株式会社ザイマックス           | サッポロビール株式会社    |
| 佐藤工業株式会社        | サントリーコーポレートビジネス株式会社 | 株式会社シーイーテック          | 柴山コンサルタント株式会社  |
| 清水建設株式会社        | 株式会社新高土木            | 株式会社スペース             | スターツ東海株式会社     |
| 株式会社扇港電機        | ダイキン工業株式会社          | 大興建設株式会社             | 株式会社竹中工務店      |
| 株式会社谷澤総合鑑定所     | 株式会社丹青社             | 中京テレビ放送株式会社          | 鉄建建設株式会社       |
| 株式会社東急設計コンサルタント | 東京海上日動火災保険株式会社      | 株式会社東芝               | 東洋電機製造株式会社     |
| 戸田建設株式会社        | 西日本電信電話株式会社         | 西松建設株式会社             | 能美防災株式会社       |
| 株式会社長谷工コーポレーション | 株式会社日立製作所           | 株式会社ファミリーマート         | 株式会社フジタ        |
| 株式会社不動テトラ       | ホーチキ株式会社            | ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 | 前田建設工業株式会社     |
| 三井住友海上火災保険株式会社  | 三井不動産株式会社           | 三井不動産ビルマネジメント株式会社    | 三菱商事株式会社       |
| 三菱電機株式会社        | 名高土木株式会社            | 名鉄E1エンジニア株式会社        | 名鉄エアパートナース株式会社 |
| 株式会社森本組         | 株式会社ヤシマキザイ          | 若松物産株式会社             |                |



表紙について

「東京名所図 瀧の川之図」  
小林清親、明治11(1878)年頃

「明治村だより」第111号(令和5年秋号) 令和5年8月31日発行

発行 博物館明治村

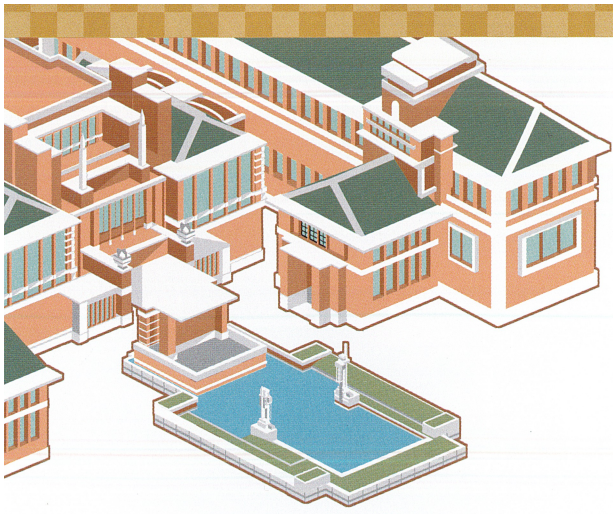
〒484-0000 愛知県犬山市字内山1番地 電話 (0568)67-0314 <https://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」第112号発行のお知らせ

発行時期 令和5年12月中旬予定

申込方法 「明治村だより」第112号ご希望の旨、およびご住所・お名前・お電話番号を明記の上、  
送料(含発送手数料)140円とともに現金書留でお申込みください。



特別展 帝国ホテル・ライト館竣工100年記念

# 東洋の宝石

## 出品資料リスト

期間 9月1日～12月17日 会場 千早赤阪小学校講堂

特別協力 株式会社 帝国ホテル

### 1 フランク・ロイド・ライトと日本

No.	資料名	年代	所蔵者
1	Birds-eye view of the World's Columbian Exposition, Chicago 1893	1893	博物館明治村
2	憎尊	1972	博物館明治村
3	緋たすきの歌	1971	博物館明治村

No.	資料名	年代	所蔵者
4	夜雪一首懐紙	1974	博物館明治村
5	円相	1973	博物館明治村
6	白川切写 (小堀宗慶箱)		博物館明治村
7	ソボツボ紋菓子皿	現代	博物館明治村

### 2 ライト館の記憶

No.	資料名	年代	所蔵者
8	Wendingen - Frank Lloyd Wright	1925	博物館明治村
9	帝国ホテル	1923	博物館明治村
10	ライト館パンフレット	年代不詳	株式会社帝国ホテル
11	絵はがき 新大東京名所	年代不詳	株式会社帝国ホテル
12	絵はがき 東京帝国ホテル	年代不詳	株式会社帝国ホテル
13	フロアライト	1923	個人蔵
14	ピーコックチェア	1923	個人蔵
15	ピーコックチェア	1923	個人蔵
16	テーブル	1923	個人蔵
17	客室椅子	1923	個人蔵
18	テーブル	1923	個人蔵

No.	資料名	年代	所蔵者
19	テーブル	1923	博物館明治村
20	トランク台	1923	博物館明治村
21	ピーコックチェア	1923	博物館明治村
22	八角テーブル	1923	博物館明治村
23	ライト館解体材 大谷石	1922	博物館明治村
24	ライト館解体材 すだれレンガ	1922	博物館明治村
25	ライト館解体材 テラコッタ	1922	博物館明治村
26	スタンドグラス ライト館解体材	1922	博物館明治村
27	クリンカータイル ライト館解体材	1922	博物館明治村
28	照明器具	1923	個人蔵

### 3 関東大震災とライト館

No.	資料名	年代	所蔵者
29	東京日日新聞 大正12年9月5日	1923	博物館明治村
30	東京日日新聞 大正12年9月7日	1923	博物館明治村
31	萬朝報 大正12年9月10日	1923	博物館明治村
32	東京大震災明細地図	1923	博物館明治村
33	大正地震 東京大火明細図 焼失区域實地調査	1923	博物館明治村
34	帝都大震災火災系統地図 解説索引附	1923	博物館明治村

No.	資料名	年代	所蔵者
35	新聞切抜帳	1923	博物館明治村
36	絵葉書 大震災大火後の東京	年代不詳	博物館明治村
37	大正震災志写真帖	1926	博物館明治村
38	大正震災志	1926	博物館明治村
39	子爵の命により訪問せし大公使館	1923	渋沢史料館
40	大震災写真画報	1923	博物館明治村
41	関東大震災画報	1923	博物館明治村

### 4 東洋の宝石 ライト館のおもてなし

No.	資料名	年代	所蔵者
42	渋沢栄一・米寿のお祝いメニュー	2023	博物館明治村 (制作協力:株式会社 帝国ホテル)
43	献立 青淵先生米寿祝賀会	1928	渋沢史料館
44	青淵先生米寿祝賀会招待状	1928	渋沢史料館
45	メニュー (1927年9月)	1927	株式会社帝国ホテル

No.	資料名	年代	所蔵者
46	定食メニュー (1934年1月26日)	1934	株式会社帝国ホテル
47	献立 帝国飛行協会晩餐		株式会社帝国ホテル
48	皿	1923	博物館明治村
49	ポット	1923	博物館明治村
50	ポット	1923	博物館明治村
51	中野重治詩集	1931	博物館明治村

### 5 VRで甦るライト館

No.	資料名	年代	所蔵者
52	帝国ホテル・ライト館 (THE JEWEL OF THE ORIENT)	2023	博物館明治村

※ 展示資料は予告なく変更する場合があります ※ 敬称略

時期に平等院鳳凰堂の資料を取り寄せて勉強していたのかもしれない。またライトの初期の名作であるユニティ・テンプル(一九〇七年)<sup>(写真5)</sup>の平面形状が、あまりにも桃山期神社権現造のそれに似ているため、伝統的な日本建築がライトに与えた影響の強さの証拠に数えられることがある。しかしライトの初来日が一九〇三年であることを考えると、直接の影響というより、教育熱心であったライトの母アンの信仰が日本神道と親近性があったことの遠因が考えられるかもしれない。日本の影響については別の視点から再考すると、ここでは、鉄骨構造技術とアール・ヌーボールの装飾に優れたサリヴァンに憧れながらも、逸早く彼から離れていくライトの激しさとその底流にあるものに注目したい。

一九〇六年のラーキン・ビル<sup>(写真5)</sup>は、それまで膨大な数の小住宅を作り続けてきたライトが生活機能との格闘から超出して突然のように、巨大なレンガの塊で造出されたようなオフィス大空間を出現させた。これから鉄骨高層構造が始まろうとする時に、なぜレンガなのかも驚きだが、中央の吹き抜け大空間と四周に多重化した小空間との流動関係が硬そうなレンガ壁の表情にもかかわらずダイナミックに息づいていて新しいタイプのオフィス空間であることが画期的であった。上下移動や各種サービス機能を四隅に整理し、主空間を中央に独立させたこのような主・従空間構成のシステムは六〇年代前後に世界的に注目されたものになったが、ライトは半世紀以上も先行していたのである。

先述したようにユニティ・テンプルは平面構成としては左右対称形であるが、人の行動や意識の動きが、混構造の各部や細部と絡みながら聖なる空間としての目的に高まっているという点で注目される。またライトは生涯住宅作家であることをやめてはおらず、この時期にも重要な住宅を設計している。ハーディ邸(一九〇五年)において、住宅は自然とどのような連続的關係を維持すべきかを示唆し、長大な片持梁の構造が実現する内外空間の流動性は内部空間の強度のためにこそ役立てられることを強調したロビー邸(一九〇九年)<sup>(写真5)</sup>をつくっている。

落水荘(一九三六年)はあまりに特別な環境だけが注目されがちであるが、アメリカの理想生活のヴィジョンの一つである森の生活に連続するための構造技術の工夫である。また、幾何学的な連続空間構成と純粋合理的な構造、レンガ材料の徹底した反復的使用、ガラスチューブを透過した泡状の頂光と不安感を誘導するかのような、足元を細くした柱と傘状に広げた柱頭スラブの広がりのみにより生気のある空間を創出し、ライトが西洋モダニズム建築に最も近接したと見なされているジョンソン&ワックス本社ビル(一九三九年)に繋がるものであろう。モダンな抽象的な空間といわゆる装飾は、建築においては相対的なものであり、実際は両者の混融が建築と

いふべきであろう。しかしライトにおいて、ラーキン・ビルからジョンソン・ワックス本社ビル、そして後期の大作ゲッゲンハイム美術館(一九五九年)への流れは、自然の中の純化した無垢な空間の探求としての連続的な有機的關係から深化、発展してきたものだと考えられる。それに対して、ライトにとっての装飾は、自然との、抽象性と象徴性が交互に断続する有機的關係の表現であって、その契機となったのは、ライトにおいてはタリアセンの環境と日本の古典的美との出会いである。

註一 大九一郎「一九六八年『帝国ホテル』毎日新聞社」  
 註二 明石信道「一九七二年『旧帝国ホテルの実証的研究』東光堂書店」  
 註三 木村寧生・渡邊大志「二〇一七年『明治26年シカゴ万国博覧会日本館・鳳凰殿の研究―日本近代建築家黎明期における立場の弱い設計者に関する考察―』日本建築学会大会学術講演梗概集」日本建築学会

※ 写真出典 Wendingen - Frank Lloyd Wright



写真1

明治村の建築に視る日本近代青春群像物語〈十一〉

（その一）  
帝国ホテルライト館は  
日米文化の出会いに架かる 未発の夢

館長 中川 武

一 関東大震災の日に  
誕生した帝国ホテルの  
中央玄関 写真1 が明治村に  
移築保存されたことの意味

一九二三年（大正十一年）九月一日午前十一時五十八分、関東周辺を含め、とりわけ東京に未曾有の大惨事をもたらした関東大震災が勃発。八月にはフランク・ロイド・ライトによって設計された帝国ホテルの二代目本館（以下、ライト館と記す）は全館完成していたが、くしくも、関東大震災が起きたその日が落成開館の披露宴の日であった。ライト館がこの大地震の被害をそれほど受けなかったことに対して今でも諸説あるが、周辺の大部分の建物が地震による倒壊もさることながら、丁度お昼どきであったため、炊事の火による延焼が大惨事を引き起こした。しかし、ライト館は電力ホテルと呼ばれていたように、電力の一元化と集中管理を行っていたため、素早く電源を切って対処したことで被害を最小限に食い止めることができたと考えられている<sup>註1</sup>。

震災直後、ライト館は外国公館や社会的主要施設の避難場所として活用され、救護と復興のために大きな力を発揮したことが、この建物の安全性と優秀性を喧伝することになったのではない。

関東大震災を無事生き残ったことがライト館の名を高め、さすがフランク・ロイド・ライト、とアメリカが生んだ近代建築の巨匠としての再評価がなされたにもかかわらず、竣工後わずか半世紀も満たぬ間になぜ解体されることになったのだろうか。ホテル経営者を含めそれぞれ異なった立場からのコメントや、構造や地盤の専門家などから多くの調査報告

れなりの伝統的社会的近代化の課題があったように思う。未曾有の困難にもかかわらず、ライトがライト館において実現しようとした建築の理想は、ライトだけのものだっただろうか。そしてその夢は、ライト館のほんの一部にすぎない中央玄関から見通すことができるものだろうか。ここに、大正期に建設され、しかもほんの一部が明治村に移築保存されただけのライト館の現代的意味を問わなければならないだろう。

二 フランク・ロイド・ライトの  
「空間」と「装飾」

一八六七年、つまり明治元年の一年前に Wisconsin シン州に生まれたライトは、一八八七年にシカゴの、ヨーロッパ経由の日本美術趣味を持つシルスビーという建築家の設計事務所ドラフトマンとして働き始めた。しかし、一年足らずの間に、やがて鉄骨超高層建築で第一期アメリカ摩天楼時代を牽引するアドラー・サリヴァン事務所に移り、すぐに住宅の設計を任せられるほどであったが、一八九三（明治二十六年、彼が二十六歳の時早くも独立した。そしてこの年のシカゴ万国博覧会日本館「鳳凰殿」写真2の現場に、足繁くライトが通っていたことが伝わっている。しかしこのパビリオンは平等院鳳凰堂の

書が出されている。  
ライト館の解体が決定された一九六七年以前から、早稲田大学明石信道教授（当時）は同建物の実測調査研究を進めていた。ライト館建設に伴う全ての過程に関する膨大な関連資料に分け入り、建設工事中にこの建物で多く繰り返されたライトの設計変更のために、明石等が作成した実測図以外はこの建物を再現する図面は無いと考えられる。

その実測作業に照らして考察した全体の構造から細部のデザインに至るまでの実態を踏まえて彼は、ライトの設計の優れた点を評価し、地盤の不同沈下に対する構造対応策の工夫や及ばなかった点をあげて、それらの可否等を部分的に考察している<sup>註3</sup>。しかし微妙にその対応策の適否の判断は避けているように思われる。それは、この地域一帯が東京軟弱地盤として知られ、地下二十m内外の、比較的安定した東京礫層まで届く杭打ちの技術がまだ無かった時代に、ライト自身がヘドロのチーズ層と呼んでこの地盤と長く悪戦苦闘した耐震のための工夫への賛同と、結果的に成功しなかったことに対してはどうするこ

したからのような気がする。ライト館の全体をエキスパンション・ジョイントで十一箇所に分けたこと、極力中央の太い柱から片持梁でできるだけ軽い石を多用した側壁と厚い床板、そして頑丈な地下室、短くても太い杭の多用、銅板瓦で屋根を軽くするなど重心を低くすること、これらの工夫をライトは浮基礎とか海に浮かぶ鋼鉄船をイメージしていたことを追跡して明らかにしている。

もしライトのこのような工夫がなかったら、大地震の当日ライト館も倒壊していたであろう。しかし同時に、開館前から既に始まっていた各部の不同沈下が進行し、修理しても修理しても追いつかないほどの各箇所の断裂による雨漏りなど、ホテルとしての機能不全に陥ったりしなかっただろうと思われる。どちらが良かったか、と問われても難しい問題としか言いようがなかったのかもしれない。そして、技術的、社会的体制が未発達であるにもかかわらず、新しい時代の理想を求めてしまう、あるいは求めざるをえなかったところに、明治から大正期の日本と、十九世紀のヨーロッパ社会、つまり世界の近代化競争に遅れて参加したアメリカの、深くはないがそ



兵庫県立大学 環境人間学部環境人間学科  
教授 水上 優

# ライトが 帝国ホテルに込めた思い

① ランク・ロイド・ライトが設計した帝国ホテルは関東大震災と切っても切れない存在です。一九二三年九月一日、関東大震災のその日が、この二代目となる帝国ホテルのオープニング・レセプションの日でありました。都心の建物が壊滅的な被害を受けるなか、この建物は大きな被害なく建ち続け、周辺住民の避難場所にもなりました。震災当時ライトは既にアメリカに帰国していましたが、仕事面でもプライベート面でも境遇的に困難な時期にあつて、この震災の話から自らの天才の証として利用した一面もありました。これらの種々のエピソードから、この建築は、これまでとかく「耐震神話」の文脈から語られてきました。

しかしここでは、関東大震災から百年経過したことも踏まえ、あえてその話題をひとまぐ措いて、ライトがこの帝国ホテルで「そもそも何をしようとしたのか」を、改めて考えてみたいと思います。

そこで、大震災以前に書かれたかれの帝国ホテルについての記述に焦点を当ててみたいと思います。かれは震災前に発行された雑誌「The Western Architect」一九二三年四月号掲載の論文で、次のように語っています。

①『新帝国ホテルは東京にあるアメリカの建物ではない。しかしそれは日本の建物でもないし、東洋の建物であるつもりもない。それは或る比類なき国家に対する建築家の心からの贈り物であり、東洋の伝統に敬意を表する建物であり、同時に日本の地に寄り添う友として固有の独自性を備えている。』

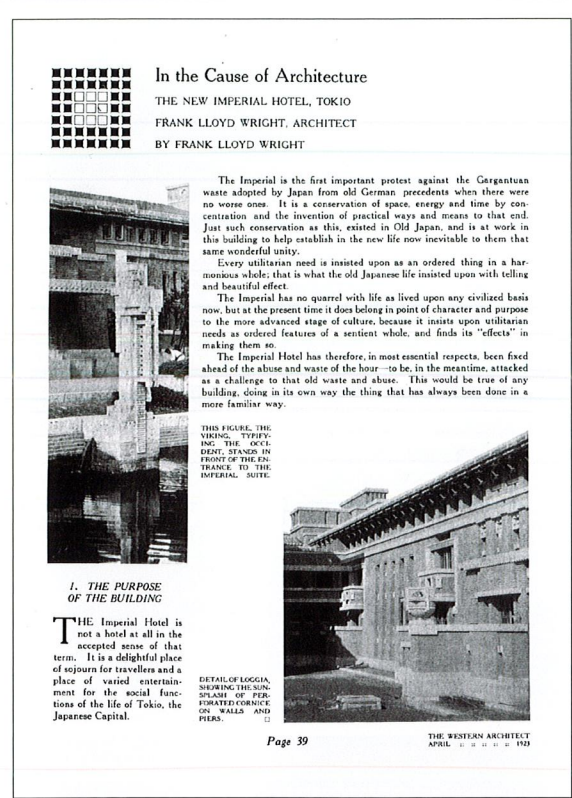
②『帝国ホテルは一つの全体としての首尾一貫したスタイル(style)を持っており、諸様式(styles)には全く依存していない。』

③『三次元のこの基準は内部に発見されなければならず、外側をつまみ上げることではない。試されているのは想像力であり、思い出ではない。』

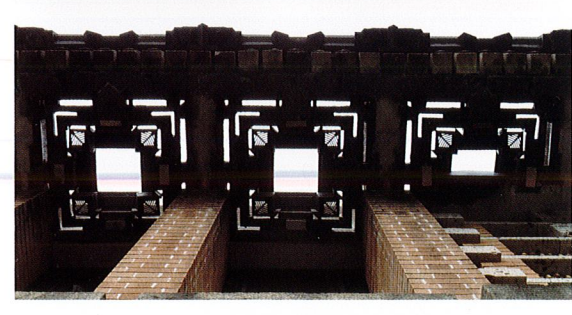
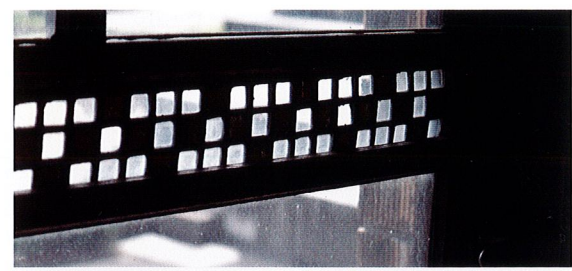
何れの言葉からも、否定と肯定をセットで言うことよって真意を伝えようとするかれの意思が感じられます。①では、帝国ホテルがアメリカ、東洋でないばかりか、日本の建物でもないと言われながら、その一方で「心」からの贈り物として伝統に「敬意」を表し、日本の「地」に寄り添うものとされています。理解の鍵の一つは②にあると思われれます。ここに見られる「スタイル(style)と諸様式(styles)の使い分け」はライトがよく使う意図的な表現です。「諸様式(styles)」の方は「或る様式(style)」とも言われ、一つ二つと数えられる「可算名詞」で表現されます。名指しされる対象として既にある、あれやこれやの過去の「様式」のことです。一方前者は「不可算名詞」として、定冠詞を用いて「the style、あるいは文中大文字表記でStyleと示されます。これはそのものが本来的に持つ、①で言われる「固有の独自性」を含蓄しています。「諸様式(styles)」は③では「思い出」とも言われています。つまり日本の神社仏閣等に見られる記号的なモチーフへの依存、引用による和風、東洋風といった趣味のことです。①で否定された日本の建物はこのような外面的なレベルのものでしょうか。③に言われる「三次元(three-dimension)」は、後年では第三次元(three dimension)ではなく、「空間次元(space dimension)」でも「奥行次元(depth-dimension)」とも言い換えられる、主体としての人間の周りに広がる生きいきとした空間、生きられた現象的空間を意味する概念です。単語「内部(inside)」は原文イタリック体で強調されていますが、これは単に建築のエクステリアに対するインテリアという意味ではありません。人間の想像力に関わる、建築の内部での人間の「心」の受け止め方のようなものが、重視されているのです。

同様に震災前に発刊された雑誌「科学知識」一九二二年四月号に掲載された論文「新帝国ホテルと建築家の使命」では、次のように言われています。

④『帝国ホテルには、建築の最も近代的で自覚的な理想が息づいている——それは有機的で統合的な美としての芸術作品の考えである——そしてそれゆえ、外からの当てはめや貼り付け、単なる独りよがりとは対照的に、それは内から外へ働き出す。』(筆者翻訳)



“The Western Architect” 1923年4月号掲載論文



帝国ホテルの空間を生気づける素材の饗宴

「有機的で統合的(organic or integral)な建築への志向は、ライトにとって生涯終始一貫するものです。「内から外へ働き出す(working from within outward)」と言われる箇所が重要です。「内(within)」はライトの最も重要なキーワードの一つで先の③の内部のこと、①の「心」のありかであり、また「内から外へ」という概念は①の固有の独自性が②のスタイルとして現れることに他なりません。ライトの建築思想の根幹をなしているということが出来ます。「内」は外から与えられるものではないし、単なる個人の内面性の発露でもありません。ライトの建築思想研究を踏まえて筆者の言葉で言うとなれば、「内」は自然と人間とが不可分に一つとなった状態、あるいは自己が自然に開かれた忘我の状態、例えば夕焼けに見とれたり、花の美しさに気を奪われたその刹那であり、「内から外へ」とは、そのような状態からの私の自覚、自我の生成ということなのです。

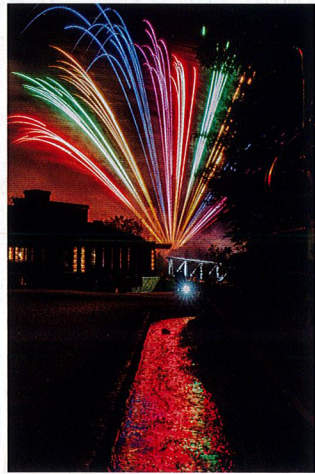
かれは建築が「素材の本性(nature of materials)」に従うことをとても重視していました。日本的に言えば、「松のことは松に習え、竹のことは竹に習え(芭蕉)」という態度のことです。素材が本来的なありかたをしていることが、人間の本来的なあり方、「内から外へ」を呼び覚ます契機、きっかけとなると考えていたのです。素材のあり方は帝国ホテルにおいても大きな特徴の一つであるといえます。

帝国ホテルライト館は、惜しまれながら一九六八年に取り壊されました。しかしその導入部「正面玄関が、ここ明治村に移築保存されています。大谷石、スタレ煉瓦(スクラッチタイル)、クリンカータイル、ガラス、銅板、木材等が、全体にわたって豊かな陰影のもとに用いられています。それら素材は壁、床、天井に連続的に使用されつつ、互いにその素材感、テクスチャーを競っているかのようです。歩みを進めれば、それらの壁、床、天井によって

入賞者一覧			
	賞名	タイトル	撮影者
入選	明治のある風景賞 入賞	萌葱色の5丁目	村松 義喜
	鉄ショット賞 入賞	カムバックShow	田北 和紀
	フェスティバル賞 入賞	青空を泳ぐ金魚たち	三須 美樹
	季節のうつろい賞 入賞	コスモスも祝福	中世古里名
協賛会社賞	坂の上の雲ミュージアム賞	余映	梶原 巨和
	坂の上の雲ミュージアム賞	円天井	沖林富士夫
	坂の上の雲ミュージアム賞	青空に立つ	赤石 光男
	坂の上の雲ミュージアム賞	夏空に映える	服部 哲治
	坂の上の雲ミュージアム賞	暮れなずむ春	山口 和子
	坂の上の雲ミュージアム賞	暮れなずむ春	山口 和子
審査員特別賞	ハクバ写真産業賞	サクラガラス	大江 雅史
	ハクバ写真産業賞	青の刻	伊野瀬 剛
		新緑と談話	大塚 優馬
		大寒	秋山万千代
		初夏の帝国ホテル	山田 全孝
		宇治山田郵便局と三段紅葉	南出 清志
		桜と市電	菱田 健
		額縁窓が並ぶ	中村 恭生
		ヒトツバタゴと金沢監獄	平林 裕
		新緑の輝き	中根 弘明
	神に導かれて	豊川 昌利	
	雪に包まれた明治の入口	渡邊 道雄	



**特賞** 明治のある風景賞  
「春遠からじ」掛布 巳幸



**特賞** フェスティバル賞  
「熱い夜」有馬 育男



**特賞** 鉄ショット賞  
「SL撮影会」平松 眞



**特賞** 季節のうつろい賞  
「光芒」西部 信行

# 明治村写真コンテスト 紙上展覧会



**明治村大賞**  
「明治遠望」井上 利宏

## 明治村写真コンテスト「明治村百景」募集要項

【応募期間】2023/7/1～2024/6/30

応募要綱

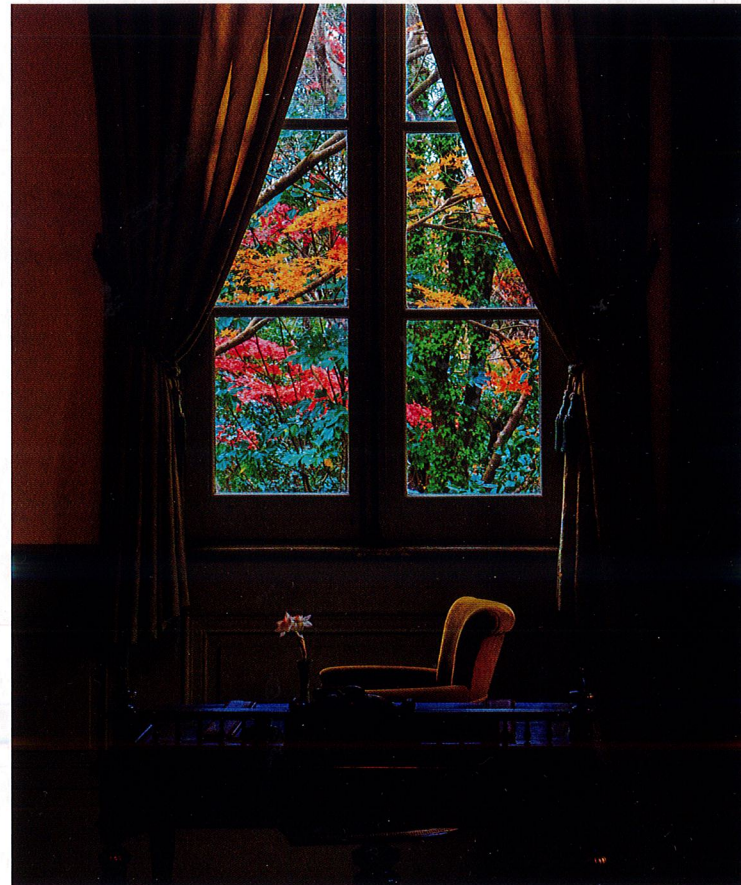
- テーマ ▶ 明治村を表す作品  
明治村の四季折々の美しさや賑わい  
明治村を楽しむ人々の心温まる風景やイベントの様子
- 締切 ▶ 2024年6月30日(必着)
- 審査 ▶ 明治村で選考した委員
- 発表 ▶ 2024年8月末までに本人宛に通知
- 表彰式・作品展 ▶ 2024年秋を予定
- 主催 ▶ 博物館 明治村
- 協賛予定 ▶ 松山市坂の上の雲ミュージアム  
ハクバ写真産業株式会社
- 応募及び問合せ先 ▶ 〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地  
博物館 明治村 写真コンテスト係  
電話 0568-67-0314 FAX 0568-67-0358

賞

- 明治村大賞 ..... 1点 賞金10万円・賞状・記念品
- 村長賞 ..... 1点 賞金3万円・賞状・記念品
- 明治のある風景賞 ..... 2点 賞金・賞状・記念品  
(特賞1点:賞金2万円 入賞1点:賞金1万円)  
建物や村内の風景をおさめた写真が対象
- 鉄ショット賞 ..... 2点 賞金・賞状・記念品  
(特賞1点:賞金2万円 入賞1点:賞金1万円)  
SLや京都市電など乗り物の写真が対象
- フェスティバル賞 ..... 2点 賞金・賞状・記念品  
(特賞1点:賞金2万円 入賞1点:賞金1万円)  
村内で開催されたイベントの写真が対象
- 季節のうつろい賞 ..... 2点 賞金・賞状・記念品  
(特賞1点:賞金2万円 入賞1点:賞金1万円)  
季節を感じられる写真が対象
- 坂の上の雲ミュージアム賞 ..... 5点 賞状・記念品
- ハクバ写真産業賞 ..... 2点 賞状・記念品
- 審査員特別賞 ..... 10点 賞状・記念品

合計27点

※賞や賞品等について、予告なく変更する場合があります。



令和4年7月から令和5年6月までにご応募いただいた明治村写真コンテスト「明治村百景」の受賞作品の一部をご紹介します。四季折々に姿を変える明治村の風景をとらえた作品や、明治村ならではの催し物、歴史的建造物を斬新な視点で切り取った作品をぜひご覧ください。(敬称略)

令和5年12月17日(日)まで  
東山梨郡役所2階にて入賞作品展開催中



**村長賞**  
「主を待つ」西村 修

特別展

帝国ホテル・ライト館竣工100年記念

# 東洋の宝石

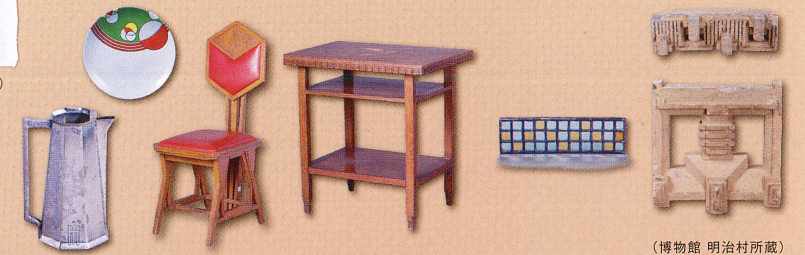
1923(大正12)年9月1日、関東大震災が起こったまさにその日に、「東洋の宝石」の異名を持つ帝国ホテル・ライト館は竣工し、本年は100年を迎える記念すべき年です。

## 本展のミ・ド・コロ

- 初公開のテーブルや国内収集家所蔵のライト館で使用された家具を一堂に展示。
- 帝国ホテル東京料理長監修の、渋沢栄一・米寿のお祝いメニューを再現。
- アメリカに残る資料や図面などを調査し、ライト館インテリアの色彩を再現。
- 帝国ホテル・ライト館のVR映像に客室・宴会場が加わり、新登場。

ライト館で使用された家具調度品

ライト館解体材



「帝国ホテル」(洪洋社 1923)

(博物館 明治村所蔵)

9/1(金)~12/17(日)  
※休村日を除く

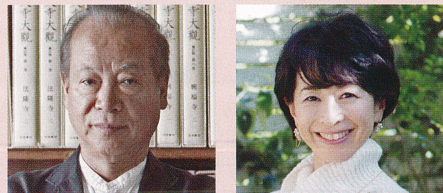
時間 10:00~16:30 ※  
※【11月】10:00~15:30  
(土日祝は~16:30)  
※【12月】10:30~15:30

会場 千早赤阪小学校講堂  
料金 700円(中学生以下は無料)

事前応募制 時間 13:30~ 会場 呉服座

トークセッション「帝国ホテル・ライト館 -未来へのメッセージ-」

11/26(日)開催!



中川 武  
(明治村館長)



阿川 佐和子氏  
(明治村村長)  
撮影・杉木 功

竣工100年を経て圧倒的な存在感を誇る「帝国ホテル・ライト館」。マガジンハウス『Casa BRUTUS』の副編集長として「フランク・ロイド・ライト特集」などを手掛けた白井良邦氏をゲストに、ライト館の魅力について阿川村長、中川館長とともに語っていただきます。

応募方法 オンラインまたは郵便はがきにてご応募ください。

オンライン 右記のQRコードよりご応募ください。



郵便はがき お名前(ご本人と同伴者様含む)、ご住所、年齢、電話番号、応募動機(50文字程度)をご記入の上、ご応募ください。  
〒484-0000 愛知県犬山市内山1 博物館 明治村  
「帝国ホテル・ライト館 -未来へのメッセージ-」係 宛  
※同伴者様のご住所、年齢、電話番号もご記入ください。

締切 2023年10月28日(土)必着

※2名様まで応募可能(同伴者様の記載がない場合は1名様での応募とさせていただきます)。  
※当選発表は、当選者様へのご案内の送付をもってかえさせていただきます。

チャップリンスタイルでサイレントの世界へ

パントマイムや奇術師に変身してマジックを披露!?コミカルで楽しいサイレントの世界をご堪能あれ!

開催日 9/16(土)・17(日)・23(土祝)・24(日)  
時間 ①11:30~ ②14:00~  
会場 呉服座 出演 ちゅうサン

明治奇術公演

1923(大正12)年、松旭齋天勝一座により帝国ホテル演芸場でも披露された「奇術」。重要文化財「呉服座」で、和をテーマにした奇術をお楽しみください。

開催日 11/11(土)・12(日)  
時間 ①11:30~ ②14:30~  
会場 呉服座 出演 DAIKI

自分だけのスダレ煉瓦をつくろう!

帝国ホテル・ライト館に使用されている「スダレ煉瓦」。テラコッタ粘土を使って、自分だけのスダレ煉瓦をつくろう!

開催日 10/7(土)・8(日)・9(月・祝)  
受付時間 ①10:30~11:30 ②13:30~14:30  
会場 名鉄岩倉変電所 料金 500円  
※体験時間は約30分

※体験時間は約30分

路上 JAZZライブ

19世紀末から20世紀初頭にかけてアメリカで誕生し、帝国ホテル・ライト館でも演奏された音楽「JAZZ」。村内各所で2日間限定のJAZZライブを開催します。

開催日 11/18(土)・19(日)  
時間 ①11:00~ ②13:00~ ③15:00~  
会場 帝国ホテル中央玄関前・聖ザビエル天主堂前・宇治山田郵便局舎前  
出演 JAZZ SURVIVOR

明治偉人隊公演

帝国ホテル・ライト館をテーマにした新作ミュージカルをはじめ、歌や踊りのショーをお届けします。

公演スケジュールなど、詳しくは明治村公式HPおよび、明治偉人隊公式SNSをご覧ください。

ステンシルアート DE 気分は名建築家?

お気に入りの型紙を選び、ライトデザイン風のオリジナル模様をつくってみよう!

開催日 10/21(土)・22(日)  
受付時間 ①10:30~11:30 ②13:30~14:30  
会場 名鉄岩倉変電所 料金 500円  
※体験時間は約30分

※体験時間は約30分

事前申込制  
帝国ホテル  
プレミアムガイドツアー

通常非公開の3階を含む「帝国ホテル中央玄関」を特別にご案内します。

日時 11/4(土)・5(日) ①11:00~ ②13:30~(各約40分)  
集合場所 帝国ホテル中央玄関前  
料金 お1人様1,000円(各回最大20名様)  
詳細・申込 右記のQRコードよりご確認、お申し込みください。



事前申込制 << キヤノンの写真教室 EOS学園主催 >>  
帝国ホテルでポートレート撮影講座(作品講評付)

帝国ホテル・ライト館竣工100年を記念して特別講座を行います。

日時 11/11(土)16:30~19:00  
※第2回作品講評 11/18(土)14:00~16:00  
集合場所 帝国ホテル中央玄関前  
詳細・申込 右記のQRコードよりご確認、お申し込みください。  
お問合せ キヤノン EOS学園名古屋校  
TEL:0570-07-9261



事前申込制

建築好き必見!  
【期間限定】出会える・学べる  
「フランク・ロイド・ライト」の世界観

博物館明治村「帝国ホテル中央玄関」とINAXライブミュージアムの帝国ホテル煉瓦製作所関連資料展示の見学に加え、豊田市美術館で開催される「フランク・ロイド・ライト 世界を結ぶ建築」へ名鉄電車全線2DAYフリーきっぷでお出かけください!

詳細・申込等は右記のQRコードよりご確認・お申し込みください。



帝国ホテル  
グルメフェア

9/1(金)~12/17(日)  
※休村日を除く

※売り切れの際はご容赦願います。



帝国ホテルのコーンクリームスープ

価格 800円  
店舗 明治の洋食屋 オムライス&グリル 浪漫亭  
※販売用商品を使用しています。



帝国ホテル監修 明治村カレー

価格 2,000円  
店舗 明治の洋食屋 オムライス&グリル 浪漫亭  
※土日祝に数量限定でご提供します。

帝国ホテルのフィナンシェ&帝国ホテルのコーヒーセット

価格 1,250円  
店舗 帝国ホテル喫茶室  
※「帝国ホテルのフィナンシェ」はセットのみでご提供になります。  
※販売用商品を使用しています。



その他100周年を彩るグルメもご用意

~明治村オリジナル~ ステンドグラスケーキ

価格 650円 店舗 帝国ホテル喫茶室

